

異学年の学び合いに関する研究 －小学校全学年の活動実践を通して－



山田純一(新潟県上越市立春日小学校)

発表内容

研究の背景と目的

研究の方法と結果

研究の方向

今後の課題



研究の背景と目的

～ 1 研究の背景 ～ (1) 異学年学習の重要性

学習指導要領から
改訂の要点(2)児童会活動の改善
「児童会活動については **異年齢集団**による...
一層図るようにすることとした。」

総合的な学習の時間の学習活動の展開に
当たっての配慮事項(第1章第3の5)
「グループ学習や**異年齢集団**による学習...工夫
すること。」

研究の背景と目的

～ 1 研究の背景 ～ (1) 異学年学習の重要性

先行研究から

矢野(1999)「異学年の集団では、...安易な問題解決に流されな**思考の深まり**を期待することができる。」

小林(2002)「異学年班が、人間関係においてトラブルが少なく**質の高い学び**であったことから、協同学習では、学年差があった方が、かえってうまくいく。」

研究の背景と目的

～ 1 研究の背景 ～ (2) 学び合いの重要性

学習指導要領から

第1章総説1改訂の基本方針

「... , 多くの知識を教え込むことになりがちであった教育の基調を転換し, **児童に自ら学び自ら考える力**を育成することを重視した教育を行うことが必要である。

...例えば, 国語科ではスピーチや**話し合い**などを充実し, ...。」

研究の背景と目的

～ 1 研究の背景 ～ (2) 学び合いの重要性

先行研究から

上野(1992)

「学校での授業は『言語ゲーム』であり、教師の意図を読みとることに生徒は一生懸命になっている。」

坂本(1995)

「学び合いこそ、学力(生きる力)を伸ばす。学び合いによって、思考を深める。」

研究の背景と目的

～ 1 研究の背景 ～ (3) オリジナリティーと願い

教える，教えられる活動

学年相互の話し合い活動

小学校全学年の異学年学習による
学年相互の話し合い活動に関する研究はない。

子どもが学年を超えた学び合いを
実現させたい。

**異学年学習の
学び合いが鍵**

研究の背景と目的

～ 2 研究の目的 ～

- 小学校全学年編成の異学年学習の効果と問題点を明らかにする。
- また、改善を図ることを通して見られる、子どもの学びの姿を明らかにする。

研究の方法と結果

～ 1 事前調査の方法 ～

(1) 目的

総合的な学習において全校異学年集団を編成し、各学年同士の関わる様子を明らかにし、異学年学習の効果と問題点を明らかにする。

(2) 対象

新潟県S市立N小学校 1～6学年 221人

(3) 期間

2002年4月中旬～5月下旬

研究の方法と結果

～ 1 事前調査の方法 ～

(4) 活動内容

運動会のダンス発表に向けて、『どんな工夫をすれば、ダンスが活発になるか』という課題をもとに、話し合いながら活動していく。

(5) 調査方法

子どもの自己評価カード
教師の活動メモ
子どものアンケート

研究の方法と結果

～ 3 事前調査の考察 ～ (1) 異学年学習の効果(当時)

6年生 下学年の姿
を主に考えていた...。
中学年を軽視？

コミ
本当の異学年学習の効果を理解していなかった...。

考えの深まり・広がり？

研究の方法と結果

～ 3 事前調査の考察 ～ (2) 異学年学習の問題点

...しているのに、それを
それは、子どもたちが乗り越える壁だと思っていた....。

リーダーとして張り
実は、グループをまとめること...

研究の方法と結果

～ 3 事前調査の考察 ～ (3) 異学年学習の改善点

なぜ，6年生が負担に感じてしまうのか。
教師としての自分を考えてみる。



「君たちは，リーダーなんだから。」
というセリフを何回も
もいっていたなあー。

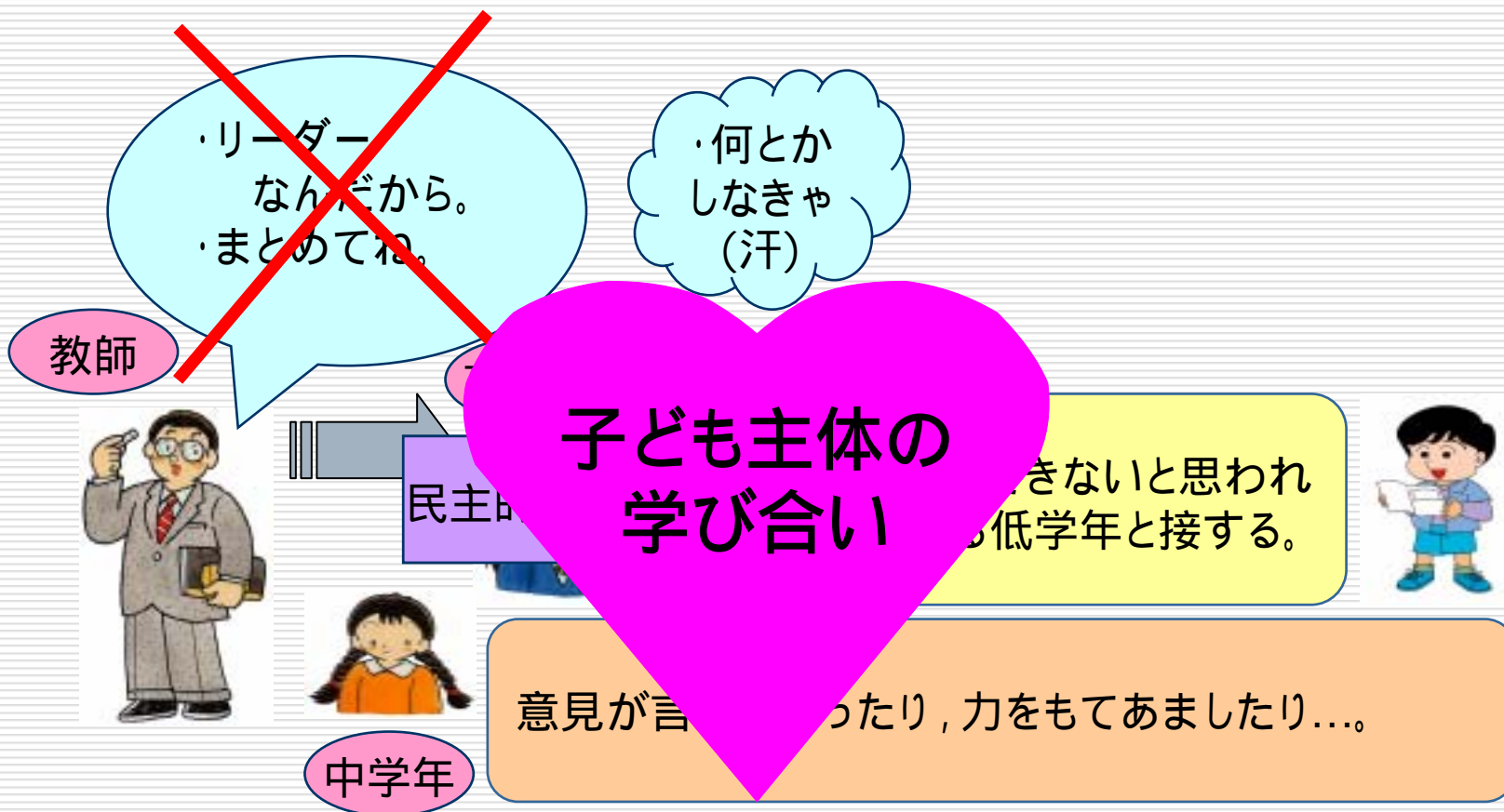
なぜ，下学年(特に3年生と4年生)が意見を
言うことができないのか。
子どもになって考えてみる。



上学年がこわいと
言えないだろう
なあー。(人間関係
希薄とか)

研究の方法と結果

～ 3 事前調査の考察 ～ (3) 異学年学習の改善点



研究の方法と結果

～ 3 1次調査の方法 ～

(1) 目的

総合的な学習の時間において全校異学年集団を編成し、昨年の反省を生かしながら活動をする。そこで見られる学びの姿を明らかにする。

(2) 対象

新潟県S市立N小学校 1～6学年 164人

(3) 期間

2003年10月下旬～12月上旬

研究の方法と結果

～ 3 1次調査の方法 ～

(3) 活動内容

「チャレンジグリーンピック」に向けて、どのようなお店やゲームにするのかを話し合いながら活動していく。

(4) 調査方法

8チームにビデオカメラを置き、子どもたちにICレコーダーを携帯させて、行動と会話を分析する。また、活動前のアンケート調査、活動中の自己評価、活動後の反省から見られる子どもの変化を分析する。

研究の方法と結果

～ 3 1次調査の方法 ～ (5) 手続き

私自身がしたこと

調査前に担当者と十分な話し合いを行い、相互理解をした。異学年の学び合いの効果、問題点。他の先生方には資料を配った(強制ではない)。

- ・教師の高学年に対する過度な期待を除く。
- ・6年生ではなく、全員に活動目標を明確にする。
- ・ unnecessary 指示を控える。

毎時間、自己反省カードをまとめ、配布した。

研究の方法と結果

～ 3 1次調査の方法 ～ (5) 手続き

当校教師がしたこと

よく見られる話し合い形式を劇化した。分類は(川合1999)

・実際の様子(2003年の9月児童朝会)の会話を使った。

保健委員会のクイズ10問に対して、縦割り班で相談して答える。時間は1問につき60秒。チーム対抗。縦割り班の様子。クイズ3問目「2番目に背の高い先生は誰でしょう」

共同掲示板を設置した。

・各チームの活動の様子がわかるものを貼った。

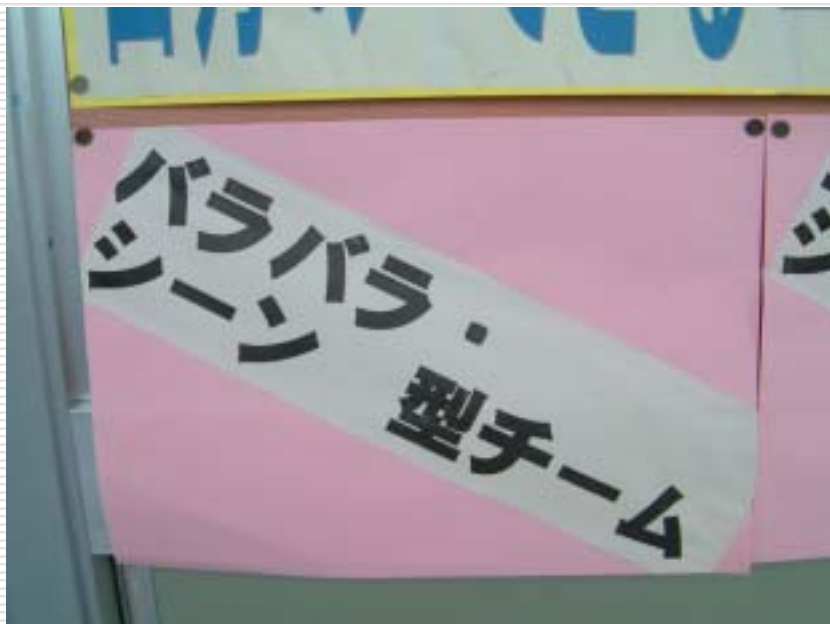
全体に目標を明確にした。

・1時間目に担当教師が全校に話をし、その用紙を共同掲示板を設置し貼ることにした。

よく見られる話し合い形式を劇化した。

無関心ケース(5%)

課題と無関係な対話をしている。発話数が少ない。お互いの考えや経験に関心がなく交流を求めない。簡単に言えば、盛り上がらない班。



- 6年:むずいなー。
- 4年:あのさ,それ見せて(ふで箱についているキーホルダー)
- 3年:いいよ。(コソコソと4年生に見せている)
意見交換なし無言...
- 6年:面倒くせー。適当でいいか。

よく見られる話し合い形式を劇化した。

強制ケース(35%)

他の子の考えや経験を強制的に排除または無視する。断定的な発話で言い合いをする。簡単に言えば、リーダー格の子供が全てを仕切ってしまう班。



- 6年:一番高いのは先生でしょ。2番目は、先生か、先生だねー。
- 5年: 先生だと思う。
- 6年:えー。先生でしょー。あー時間ない。先生にしよう!

よく見られる話し合い形式を劇化した。

安易な合意ケース(50%)

お互いの考え(知識)や経験を述べるが交流が浅い。意見の対立を避け、どちらかが同調し容易に合意する。



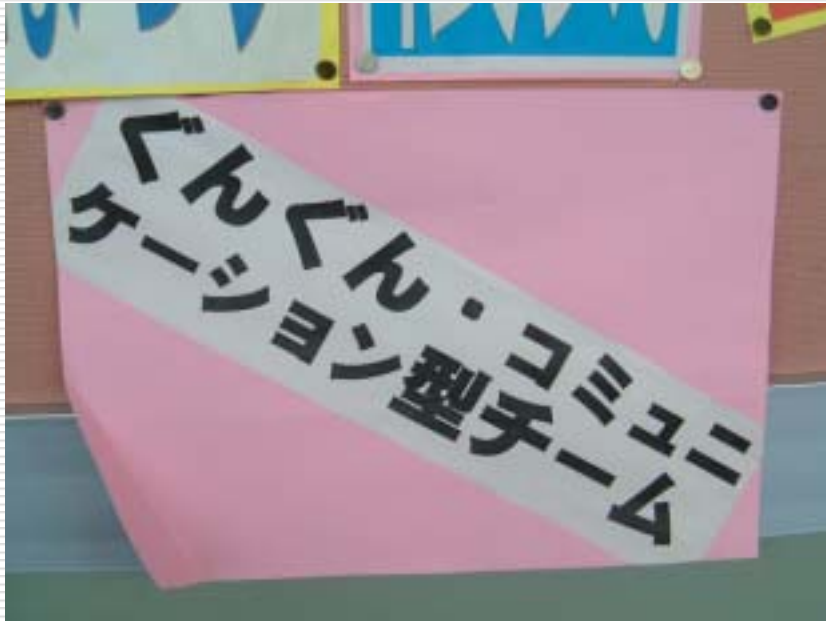
- 6年: 2番目に高い先生だって。(5年)さん, どう思う?
- 5年: 先生かな。
- 6年: (4年)さんは?。
- 4年: やっぱ, 先生でしょー。
- 6年: (3年)さんは?

- 1年: 先生。
- 6年: 多数決で 先生ね。

よく見られる話し合い形式を劇化した。

経験交換ケース(10%)

考え(知識)やお互いに説明し合い, 交流する。納得するまで対話しようとしている。



- 4年: わずかに, 先生。
- 3年: でもさー, 先生, 毛がたっているじゃん。
- 5年: あっ, そっか。
- 6年: 先生は靴底が厚いよ。
- 3年: うーん, わかんねえー。
- 5年: (1年)さん, どう?
- 1年: 先生かな。
- 6年: そっか。何で?
- 1年: 何となく...
- 5年: 直感ね。(2年)さんは?。
- 2年: 私も 先生...

全体に目標を明確にした。
共同掲示板を設置した。

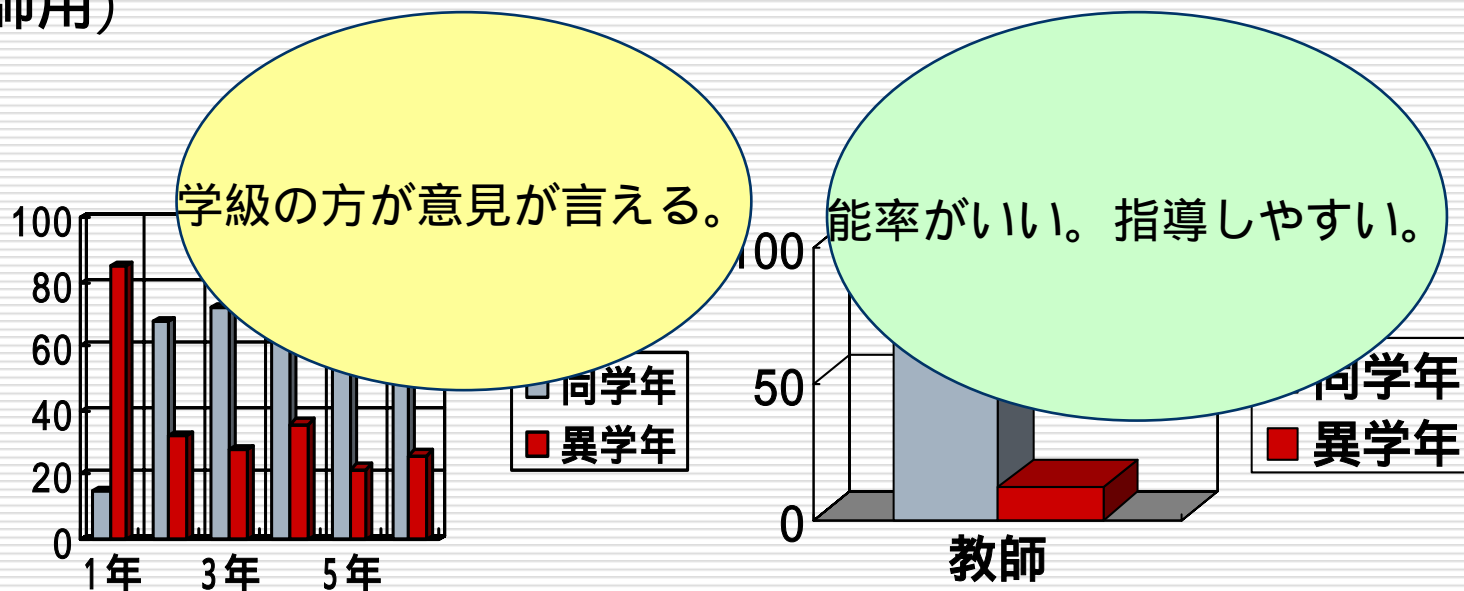


研究の方法と結果

～ 3 1次調査の結果 ～ (1) 事前アンケート

縦割り班と学級を比べて、どちらで学習(活動)する方が好きですか。(子ども用)

同学年と異学年では教科学習(総合的な学習を含む)や特別活動に対して、どちらが有効な学習形態だと考えますか。(教師用)

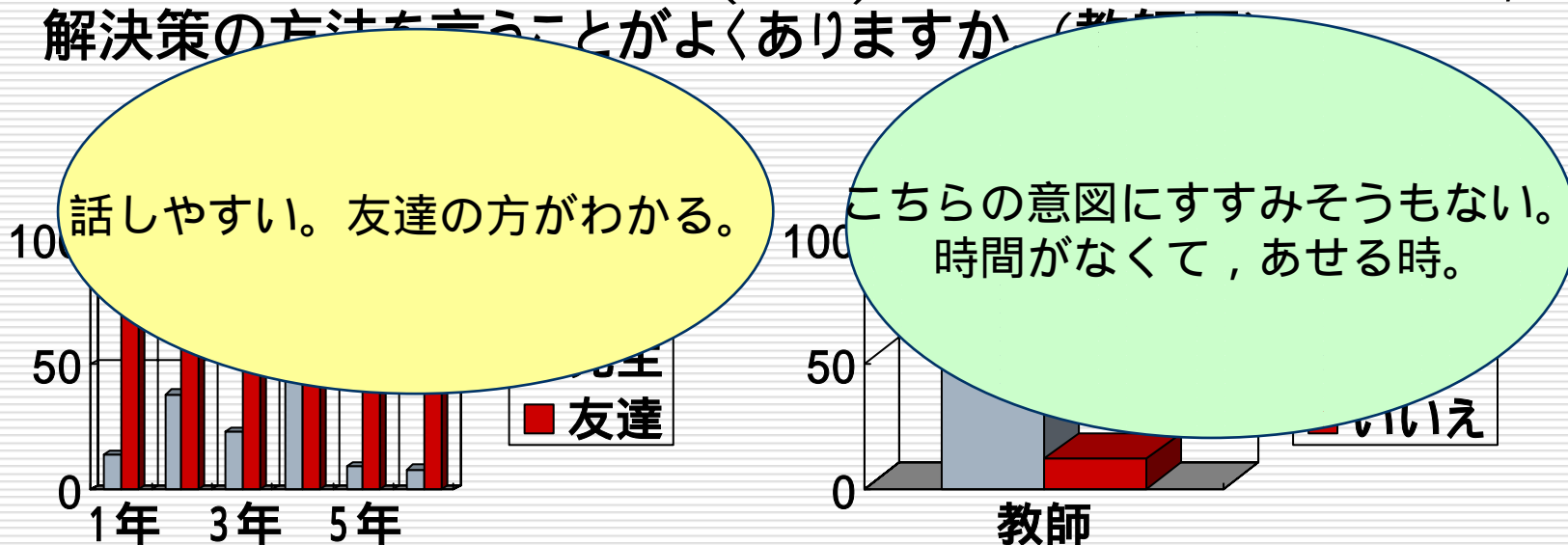


研究の方法と結果

～ 3 1次調査の結果 ～ (1) 事前アンケート

縦割り班学習(活動)で困った時に、先生から助けてもらいたいですか。それとも友達から助けてもらいたいですか。(子ども用)

子どもたちが縦割り班学習(活動)をしていて困っている時に、解決策の方法を言うことがよくありますか。(教師用)

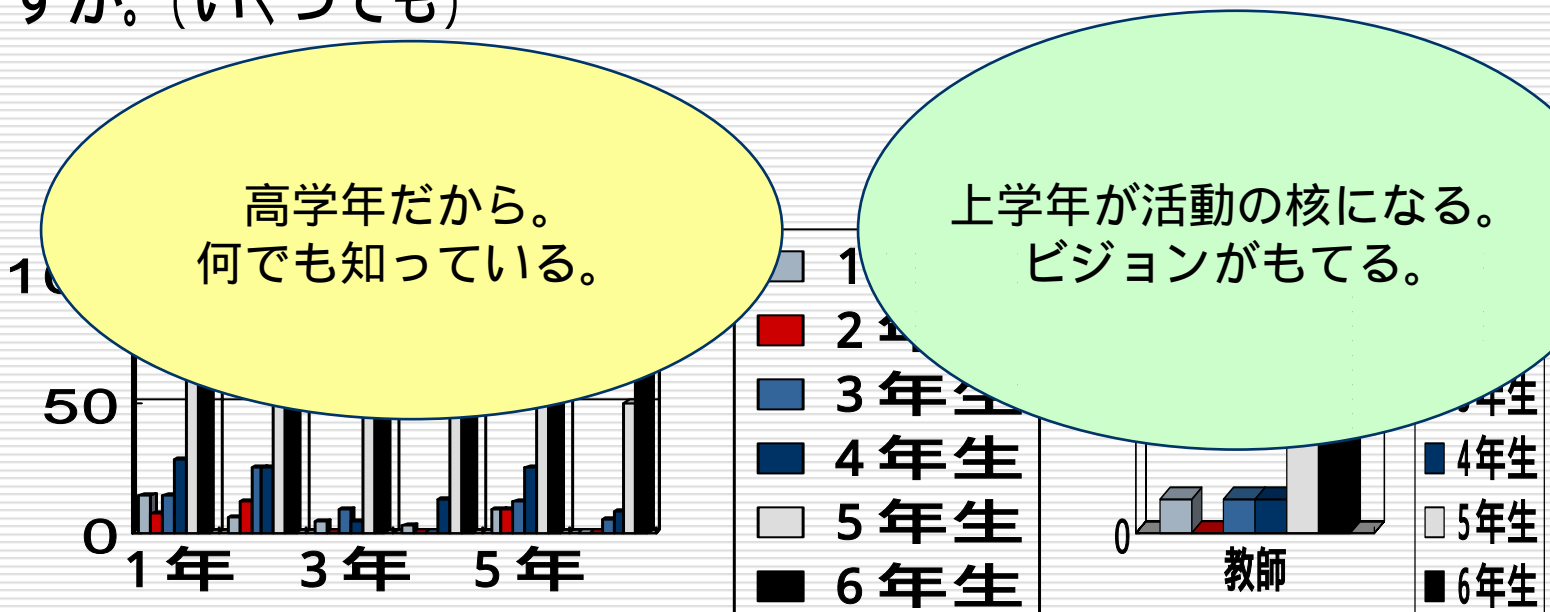


研究の方法と結果

～ 3 1次調査の結果 ～ (1) 事前アンケート

縦割り班学習(活動)で、話し合いの中心になるのはどの学年がいいと思いますか。(自分の学年を選んでもいいです。)

縦割り班学習(活動)で1番ポイントと考える学年は何学年ですか。(いくつでも)



研究の方法と結果

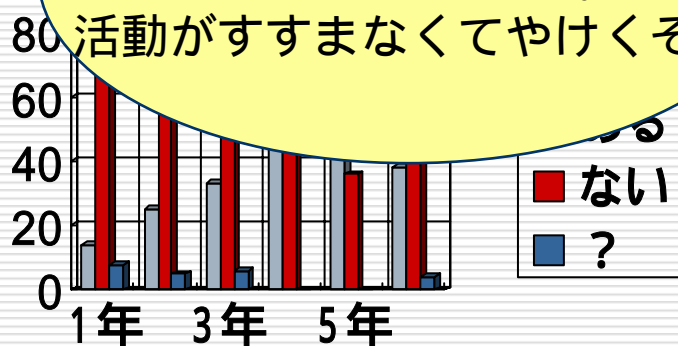
～ 3 1次調査の結果 ～ (1) 事前アンケート

縦割り班学習(活動)をしている時に,なんのためにやっているのかが(活動の目的),わからなくなることがよくありますか。

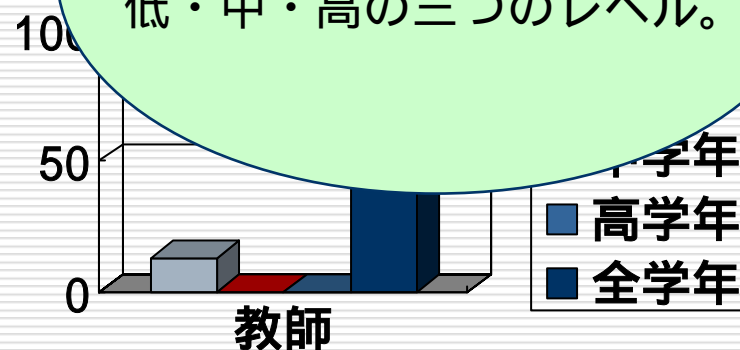
縦割り班学習(活動)の目標を考える時に,どの学年を考えて設定しますか。

低学年・中学年・高学年・全学年

わからない時は6年生に聞く。
ぼーっとしている。
活動がすすまなくてやけくそ。



発達段階に差がある。
低・中・高の三つのレベル。



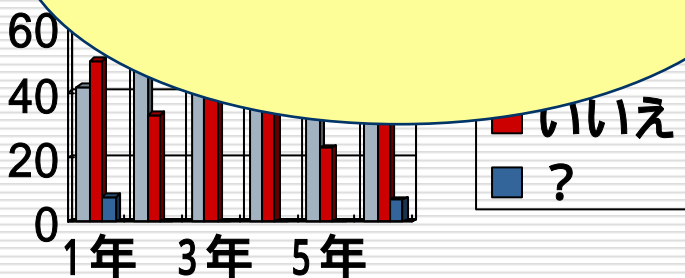
研究の方法と結果

～ 3 1次調査の結果 ～ (1) 事前アンケート

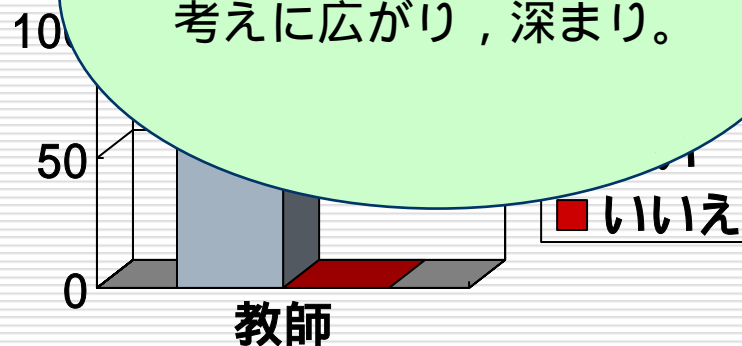
縦割り班学習(活動)をしている時に、他のグループは何をしているのか、見たい、知りたいと思いますか。

縦割り班学習(活動)をしている時に、他のグループに行き、活動を見たり、教えてもらったりすることはいいことだと思いますか。

スパイみたいだからいやだ。
どんなことをしているか気になる。



お互いに刺激になる。
考えに広がり、深まり。



研究の方法と結果

~ 3 1次調査の結果 ~ (2) グループ内での話し合いの変化

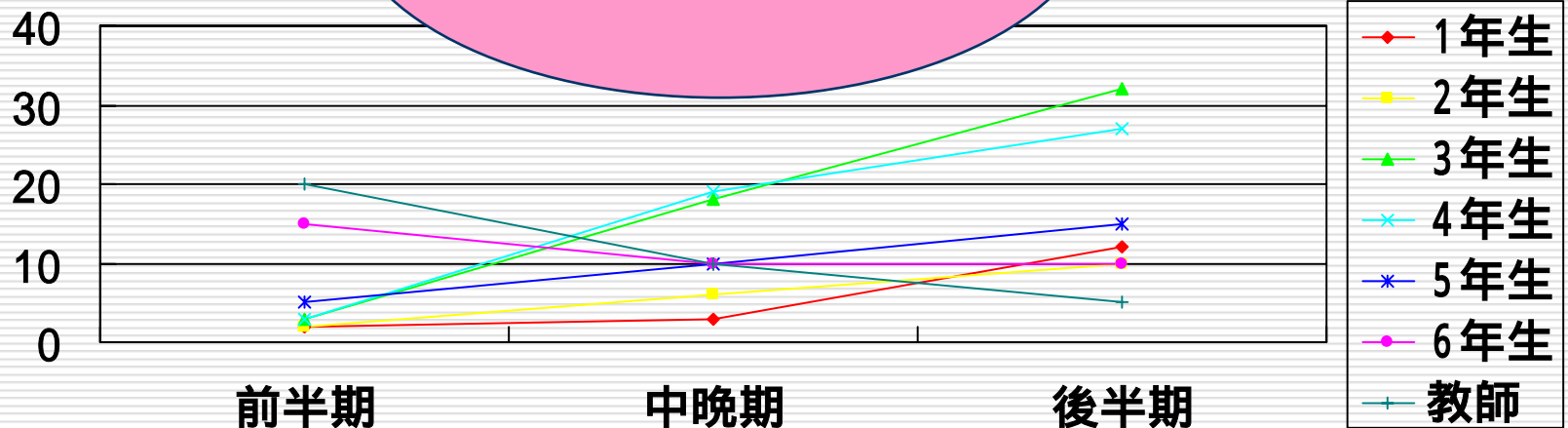
発話数の変化

各学年と教師の発話数(一文を1カウント。つぶやきを含む。)カウントした。発話数 = 学年のカウント ÷ 学年人数 ÷ 分

学習活動(話し合い)の前半期、中晩期、後半期のグループでの話し合い時間(分)

1グループ(1人、2年生4人、3年生4人、4年生5人、5年生4人、6年生4人、教師1人)

教師と6年生が減。
他学年は増。特に中学年。



研究の方法と結果

～ 3 1次調査の結果 ～ (2) グループ内での話し合いの変化

会話の質の変化

【前半期】

6年: 何の店がいい?

6年: (4年生)さん

【後半期】

6年: 壁新聞を作りたいんだけど、

前半は、6年生が話し合いを無理に進めようとしていることが多い。

後半は間があるものの、一度意見がでる次々と話し合いが進む。

去年やっていた

6年: (3年生)さんは、これでいい?

3年: うん? う・ううん....

6年: オッケーね。

かやうい....

3年: 何の写真?

5年: 活動しているところ撮ったじゃん。

3年: あっ, そっか。

6年: そこに, ふきだし入れるとおもしろいかもね。

研究の方法と結果

～ 3 1次調査の結果 ～ (2) グループ内での話し合いの変化

リーダーの変化

発話数の減少の理由について(インタビュー)

私 : ちょっと聞いていい?

6年: いいよ。

私 : 最初から比べて、みんなの考えを聞こうとするようになったけど、どうしてかな?

6年: ぐんぐん・コミュニケーション型チームのようになろうと思ったんだけど、**何か焦ってた。**

私 : 何で焦ってたの?

6年: **自分が何とかしなきゃいけない**と思ったから。

私 : だれが「自分」って決めたの?

6年:。いつの間にか。**先生?**

私 : 今は?

6年: 今は焦ってない。みんなも一生懸命意見を言ってくれるし。

研究の方法と結果

～ 3 1次調査の結果 ～ (2) グループ内での話し合いの変化

教師の変化

発話数の減少の理由について(雑談の中から)



「ビデオが最初あって、いろいろとしななきゃいけないなーって思って、たくさんしゃべってしまったけど、かえって子どもたちは静かになってしまった…。そのうちどうでもよくなって、何も言わなかったら、逆に子どもたちはいい話し合いをしたんだよ。」

研究の方法と結果

～ 3 1次調査の結果 ～ (3) 全学年が力を発揮する場が増加 (VTR)

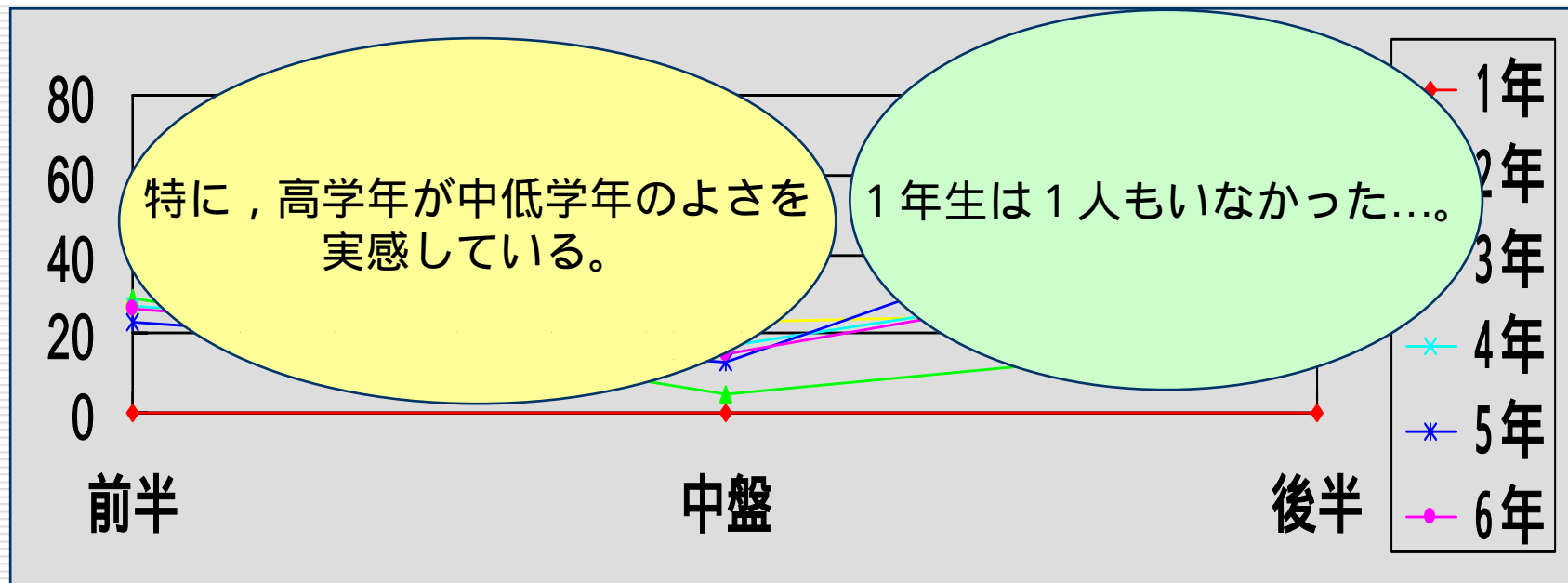


中学年が司会役を立候補した。
中低学年の小グループができ、CMづくりの活動がんばり、全体に発表した。

研究の方法と結果

～ 3 1次調査の結果 ～ (4) 子どもたちや教師の意識変化

子どもたちがお互いのよさに気がつく。
友だちのよかったところが記入されている人数の割合(自己評価カードより)



研究の方法と結果

～ 3 1次調査の結果 ～ (4) 子どもたちや教師の意識変化

子どもたちがお互いのよさに気がつく。(自己評価カード)

2年生: タイムのはかり方がわからなかったけど, (3年生)さんと(5年生)さんにやさしく教えてもらってよかった。

3年生: 5・6年生は計算がわかってすごかった。(4年生)さんは, 意見をいっぱいいだしてすごかったです。

4年生: 2年生がしっかりメダルづくりをしてくれた。低学年なのにがんばっていたと思います。1年生の さんは, はずかしがらずに質問をしていてがんばりました。

5年生: ぼくより, 下の学年が多くゲームの案を出してくれた。
: 1年生もしっかりと言えたのですごいと思います。

6年生: さんは2年生なのに, 30秒CMのセリフをがんばって覚えた。すごい。
: まだ4年生なのに, みんなをまとめたりする人がいました。びっくりです。

研究の方法と結果

~ 3 1次調査の結果 ~ (4) 子どもたちや教師の意識変化

子どもたちが異学年学習のよさに気がつく(作文より)

人間関係の向上，
自分の意見がいいやすい雰囲気。

私は話し合いをしているのに
声をだせなかつたけど六
年生がじょうずにすすめ
した。まちがえてしまった
りました。でも四年
く教えてくれました。
生みんなと友達になつ
緒に行動ができたので私
しいです。みんなとてもや
さしくいろいろなことを教えてく
れました。ありがとう。



研究の方法と結果

~ 3 1次調査の結果 ~ (4) 子どもたちや教師の意識変化

子どもたちが異学年学習のよさに気がつく。(6年生の作文より)



異学年学習による考えの深まり。

「あの人は言わないし、
ということを考えて
見当がつくが他
かない。相手の全て
が楽しい。話してい
が知れておもしろ

他の学年の人たちと話し合っ
たり準備したりしていくうちに
意欲がわいてきた。活動を通して
他の学年と活動してきたがこれ
によって考えが広まる」といつこ
とで成長したと思う。同じ学年

研究の方法と結果

～ 3 1次調査の結果 ～ (4) 子どもたちや教師の意識変化

教師が子どもたちのよさに気がつく。(反省より)

教師ができれば、見かけは多少...好悪かろうが、失敗しようがでしなかな...てきたこととなら納得できる。自分たちが...せられて修正していくときよりもはるかに...なことが何回かありました。子どもってすごいで9。...しているのは、自分の手出し口だしの多すぎや適切な支援のできなさが大きな一因。(特に時間がなくなりせっぱ詰まってくると...)反省です。でも、このチームとの活動は楽しかったです。私にとってこの20時間は、貴重な体験の連続でした。3月に解散するときは、きっとさびしいだろうな。

子どもの有能さを実感。
教師としての自分の反省。

研究の方法と結果

～ 3 1次調査の結果 ～(4) 子どもたちや教師の意識変化

教師が異学年学習のよさに気がつく。(反省より)

「6年生だけがリーダーじゃなくていいよ」と思ったときのS男が、ほっとしながら「そーだったよ」と言った。リーダーとして頑張れ頑張れと言わされていたのかもしれない。しかし、子どもは自主的に活動できる。教師の指示がなくとも、異学年により、いっそう負担にならなくなったわけではなく、「6年生として頑張ろう」というふうに変化していった。先生から言われたからとか義務だからという押しつけからではなく、自分自身が自発的に「6年生として頑張ろう」と思ったことには大きな違いがあったと思う。

研究の方法と結果

～ 3 1次調査の結果 ～ (4) 子どもたちや教師の意識変化

教師が異学年学習のよさに気づいた(教師より)

子ども主体の異学年学習への
足がかりをつかんだ。

「口をはさま
「5・6年生が
概念があったけど、
大切な
こと。でも、それだけでは縦割活動としての
学び合いは、きっとふだんの授業も成立し
ないのだなあ、ということをはほんの少しだけ
ど実感できました。子どもが自主的に動く
縦割活動は続けていきたいです。



研究の方向

- ・子どもたちがお互いのよさに気がつく。
- ・教師が子どもたちのよさに気がつく。

- ・6年生は民主的リーダー。
- ・下学年が意見を言える雰囲気。
- ・各学年の活動の場が増える。

- ・6年生に対する過度な期待を除く。
- ・全員に活動目標を明確にする。
- ・子どもたちを信じ、不必要な指示を控える。

学び合う学校

異学年学習のよさを実感

今後の課題

教師が異学年学習の学び合いの効果を一人でも多く方に実感してもらおう。

ここで得られた文化を正しく伝承。



明確な効果がみることができなかった子どもたちの原因追及。

さらなる分析。